

電 力 情 報

NO. 68

平成21年12月22日
東 北 電 力 (株)

1 1 月 分 の 電 力 需 給 実 績 に つ い て

1 . 電 力 需 要 に つ い て (表 - 1 参 照)

11月分の販売電力量は、62億4,800万kWh、対前年比95.8%の実績となりました。これを用途別にみますと、以下のとおりです。

特定規模需要以外の需要 (自由化対象以外のお客さま)

電灯は、検針期間が前年よりも短かったことなどから、対前年比98.2%と前年を下回る実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比97.8%の実績となりました。

特定規模需要 (自由化対象のお客さま)

業務用電力は、景気悪化や省エネの影響などから、対前年比98.2%と前年を下回る実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比94.8%の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

大口電力

大口電力は、景気悪化による減産の影響などから、対前年比92.9%の実績となり、平成20年11月分以来13カ月連続で前年実績を下回りました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

11月の発受電電力量の合計は、70億7,300万kWhとなり、対前年比96.1%、対計画比98.4%の実績となりました。

（自社水力）

電源地点の降水量が少なかったことから、出水率90.7%の湯水となりました。

発電量は前年が今年以上の湯水であったことから、前年を5,500万kWh上回る5億4,700万kWhとなりました。

（自社火力）

需要の減少などにより、発電量は前年を5億4,000万kWh下回る3億5億9,600万kWhとなりました。

（自社原子力）

前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を3億500万kWh下回る1億5億9,700万kWhとなりました。

（他社受電）

他社発電所の前年との運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を3,900万kWh下回る1億3,300万kWhとなりました。

以 上